

令和8年度釧路バレーボール協会 中学校委員会総会 兼 釧路地区中体連バレーボール専門委員会



- 1 日時 令和8年4月14日（火）午後6時30分～
- 2 場所 釧路市立桜が丘中学校4階視聴覚室
釧路市桜ヶ岡6丁目27番12号
TEL 0154-92-0711
FAX 0154-92-0712
- 3 議事進行
 - (1) 令和7年度反省(競技部、指導普及部、審判部、強化部、決算報告 ほか)
 - (2) 令和8年度計画(中学校委員会組織並びに事業計画、予算案 ほか)
 - (3) 日本協会登録について(JVA-MRS)
 - (4) その他(令和8年度新ルールの適用について、指導普及委員会地区委員長会議伝達、北海道公認コーチ申請、複数校合同チーム結成や新チーム以降の複数校合同チームの編成、クラブチーム中体連参加について、釧路十勝定期戦関係 ほか)
 - (5) 質疑応答

釧路バレーボール協会中学校委員会

中学校委員会HP <https://kushiro-jhvolleyball.com/>



令和7年度 中学校委員会 年度反省

《 競技部 》

部長:阿部 周平(幣舞) 副部長:秋保 健太(幣舞)

業務内容	成果と課題	次年度に向けての展望
<p>①大会組み合わせ及び大会要項作成 ・「教育長杯」「新人リーグ戦」「会長杯」「バレーボール選手権」の組み合わせを行い、大会14日前に委員長に確認を取る。確定後参加校へ連絡する。</p>	<p>・4つの大会において、大会要項や組合せを滞りなく作成することができた。 ・Googleフォームを利用した参加確認を行うことができた。</p>	<p>・前年度同様に、Googleフォームを用いて参加確認を行う。 ・トーナメント戦の組み方についてご意見をいただいた。チーム数やチーム状況を考慮しながら、試合数を確保したよりよいトーナメント戦を組んでいく。 ・合同チームやクラブチームが増えていることから縦型のトーナメント表を作成した。継続？</p>
<p>②大会運営 ・開閉会式の進行、試合記録(スコアシート)の作成、管理</p>	<p>・開閉会式についてはその時々状況を踏まえながら適切に行うことができた。</p>	<p>・大会運営については、競技部が中心としての役割を担いながらも、少しずつ運営できる先生方を増やしていくことで、持続可能な大会運営を目指していきたい。ご協力をお願いします。</p>
<p>③試合会場(当番校)との手続き・連絡 ・会場確保の確認と暖房通気願(冬期間大会のみ)の手続きをする。</p>	<p>・試合記録も同様に、委員長がその日のうちに、試合後各新聞社(釧路新聞・北海道新聞)に連絡し、各学校にもまとめたものを発送した。</p> <p>・市内の中学校を使用する際には、大会日程が決まり次第、早急に確保をする必要がある。</p>	<p>・体育館の広さはもちろん、照明の明るさも配慮しながら会場確保に努める。 ・バスケットの事務局とも相談し、年度当初に、ある程度体育館確保の見通しを持つ。 ・今年度も各校のご協力をお願いしたい。</p>

釧路バレーボール協会中学校委員会

令和7年度 指導普及部反省

指導普及部 高橋 円

	令和7年度の反省	令和8年度の展望
①第1次ジュニアキャンプの企画・運営	・急な大雨警報のため、2日日程を1日日程に変更した。指導者連絡が上手くいかず、ご迷惑をおかけした。以後、LINE オープンチャット活用。	・ウィンドヒルくしろスーパーアリーナを確保。派遣講師は要望なし。 7月29日(水)・30日(木) 予定 ※全道大会視察のため例年より時期を早めた。
②バレーボールフェスティバルの企画・運営	・男子のチーム、小中合同のチームも増えてきた。富中会場もお借りして滞りなく行えた。ラインジャッジ講習会実施。	・富原中学校もお借りして町体含め、6面使用で終日行う予定。12月12日(土) ラインジャッジ講習会予定。
③指導者講習会の企画 ④若手指導者養成	・ここ数年指導者講習会はできていないので、来年度こそは行いたい。また、秋の強化練習会に若い先生方にきていただき、指導の手順なども学んでほしい。	・全道伝達講習会は、4月4日(土)江別中央中学校。
⑤優秀選手選抜大会の選手選考と練習	・秋の強化練習会6回ほど、練習会を行った。そこから選抜選考会を2回行った。上記③④とも連携していきたい。	・例年通り行う予定。 ・新しい指導スタッフや若いスタッフの育成急務。
⑥釧路十勝定期戦	・町体、富原中で滞りなく行うことができた。	・4月25日(土)十勝開催。

令和7年度 中学校委員会 年度反省

《 審判部 》

部長:宝輪 秀光(富原) 副部長:吉野 祐介(厚岸)

2026/4/14

業務内容	成果と課題	次年度に向けての展望
○各種大会の審判確保—道協会との連絡	<ul style="list-style-type: none"> 各カテゴリの審判員の方々のご協力により、様々な大会で審判員を確保することができた。 大会日程によっては、審判員の確保が難しいこともあった。 	<ul style="list-style-type: none"> 相互審判を基本に運営する。大会形式によっては外部審判が必要になるため、大会運営の形式が確定した段階で、審判員の確保に努める。 釧路地区の審判員が高齢化しているとともに、審判員も減少しているため、チームスタッフに審判をお願いすることをご了承願いたい。
○大会運営—審判割り当て、コートの特検	<ul style="list-style-type: none"> コート設営は、先生方のご協力によりスムーズに行われている。 相互審判で行うため、結果次第で割り当てが急に決まることもあり、先生方にはご迷惑おかけすることもあるが今後ともご理解願いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 次年度は全道中体連が釧路であるため、主副ができる審判員の育成・確保はもとより、記録を含めた審判員を増やす必要がある。そのため、チームスタッフに割り当てをさせていただくことがあるが、ご了承願いたい。
○審判の育成	<ul style="list-style-type: none"> 新人リーグ戦が審判育成の重要な場になっているため、今後も有効に活用する。 時期にもよるので難しいところはあるが、3月の優秀選手選抜大会の帯同審判員の確保が難しい。 できる限り多くの人に資格取得をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 釧路地区のために、釧路中体連からもB級、さらにはA級審判員を目指し、全道、全国で活動できる審判員が必要である。 研修や資格取得としての側面もあるため、ぜひ、多くの人に参加をお願いしたい。
○記録・ラインジャッジの指導・育成	<ul style="list-style-type: none"> ラインジャッジの講習を行った。また、各大会でもラインジャッジの育成の啓発を行ってきた。次年度に向けて、指導と育成を継続していく。 	<ul style="list-style-type: none"> どの大会においても、審判員(指導者)でラインジャッジの指導や育成を行う必要がある。日頃の部活動で育成することは難しいですが、自チームの生徒に限らずに声をかけ、生徒と指導者が一緒に成長し合える関係を築いていただきたい。 今年度中から、全道中体連に向けて育成を計画的に行っていく。
○ルール等に関わる指導		<ul style="list-style-type: none"> ルール変更や取り扱いについて変更がある場合は、5月の全道大会で伝達があるため、大会後に詳細を周知します。 <p>※別資料 2026年度 6人制ルールの取り扱いについて 参照</p>

選抜関係（強化） 記入者 阿部（幣舞）

1、強化練習会および選抜選考会の日程

成 果

強化練習会も2年目となった。地区の力のある選手たちが練習を重ね、「釧路’s Way」→釧路としてのバレーボールの戦い方を共有することで、選抜へのスムーズな接続や、強化に一定の効果が見られた。チームを超えた定期的な交流となり、選手保護者からはおおむね好意的な評価をいただけている。今後の地域移行も見据えながら、指導者の負担にならない程度に活動を継続していきたいと考える。教員以外の指導者の協力も得られており、バレーの指導に興味のある方々の指導経験の場にもつなげたい。

課 題

若い指導者への負担が大きなものになってしまう。参加費は1,000円いただいているが、交通費も十分に賄えていない状況である。部活動が縮小傾向になっていく中で、どのような活動が継続できて、どのように地域移行につなげていくか模索していくことが必要になる。

経験者の練習の場としての成果はあるものの、地区としては、初心者で始めたものの、練習が十分にできないことの困り感を選手・指導者ともに抱えている現状もみられるので、そのような選手たちを対象とした練習会も計画できれば…。

今年度実施予定

強化練習会①	9月20日（日）	強化練習会②	9月27日（日）
強化練習会③	10月18日（日）	強化練習会④	10月25日（日）
強化練習会⑤	11月23日（月）	強化練習会⑥	11月29日（日）
選抜選考会①	12月19日（土）	選抜選考会②	12月20日（日）

2、ユニフォームの購入について

今年度は、クラブチームの指導者の方々のご協力をいただきながら、男子の選抜も活動することができた。男子のユニフォームは平成27年度を最後に更新しておらず、その前のユニフォームはとても使えるような状態にない。女子は今年度購入させていただいたが、男子の活動も今後数年間は見込まれることから、今年度男子のユニフォームの購入をさせていただきたい。

令和7年度 釧路バレーボール協会中学校委員会 会計決算報告書

収入の部

摘要	R O 7 予算	R O 7 決算	増減	備考
前年度繰越し金	1,074,618	1,074,618	0	
大会参加料（教育長杯）	30,000	39,000	9,000	
大会参加料（丹頂リーグ1）	30,000	30,000	0	
大会参加料（丹頂リーグ2）	30,000	30,000	0	
大会参加料（丹頂リーグ3）	30,000	27,000	-3,000	
大会参加料（会長杯）	30,000	30,000	0	
大会参加料（選手権大会）	30,000	24,000	-6,000	
ジュニアキャンプ収益	90,000	50,000	-40,000	
V B フェスティバル収益	10,000	14,500	4,500	
預金の受取利子	0	732	732	r07.10.01 732円
選抜（男女）残金	0	25,920	25,920	選抜本大会参加費（女子）の差額返金分
その他	0	0	0	
合計	1,354,618	1,345,770	-8,848	

支出の部

摘要	R O 7 予算	R O 7 決算	増減	備考
大会会場費（教育長杯）	0	0	0	
大会会場費（丹頂リーグ1）	0	0	0	
大会会場費（丹頂リーグ2）	30,000	31,700	-1,700	釧路町総合体育館[03]
大会会場費（丹頂リーグ3）	30,000	36,160	-6,160	釧路町総合体育館[06]
大会会場費（会長杯）	30,000	36,160	-6,160	釧路町総合体育館[05]
大会会場費（選手権）	0	0	0	
大会審判料	20,000	16,000	4,000	教育長杯 4,000、会長杯 4,000、丹頂リーグ3 2,000、選手権 6,000
動画撮影協力の謝礼	10,000	6,000	4,000	教育長杯 3,000、丹頂リーグ2 1,000、会長杯 1,000、丹頂リーグ3 1,000
大会補助役員・生徒弁当代	0	0	0	
釧路・十勝定期戦会場費	30,000	34,470	-4,470	釧路町総合体育館[01]
釧路・十勝定期戦補助費	0	0	0	
ジュニアキャンプ会場費	0	0	0	
V B フェスティバル会場費	30,000	27,490	2,510	釧路町総合体育館[07]
選抜（男女）補助費	150,000	265,226	-115,226	本大会 参加費（男子、女子）、スタッフジャージ代（男子、女子）[09.10]、帯広遠征 宿泊費、朝食代（女子）、文具代、高校土産代、交通費、食事代（女子）[12-16.??]
選抜（女）選考会プロフィール、修了証作成費	5,000	0	5,000	
慶弔費	25,000	0	25,000	
旅費	40,000	0	40,000	
備品購入費	150,000	157,080	-7,080	選抜男子ゲームパンツ[11]、選抜女子ユニフォーム[17]
消耗品購入費、その他	804,618	46,828	757,790	電池[02]、ポリライントープ[04]、フェスティバル景品[08]
合計	1,354,618	657,114	697,504	

収支決算

(収入) - (支出) = (残金)

1345770 - 657114 = 688656

残金 688656 円は、令和8年度会計に繰り越し

上記の通り、報告致します。

令和8年4月13日

釧路バレーボール協会中学校委員会 会計担当

中谷 智之



帳簿、通帳、証書類を監査の結果、適正であることを報告致します。

令和8年4月14日

釧路バレーボール協会中学校委員会 委員長

瀬谷 賢一



令和8年度 釧路バレーボール協会中学校委員会 会計予算案

収入の部

摘 要	R07 予算	R07 決算	R08 予算	備 考
前年度繰越金	1,074,618	1,074,618	688,656	
大会参加料（教育長杯）	30,000	39,000	30,000	女10
大会参加料（丹頂リーグ1）	30,000	30,000	30,000	女10
大会参加料（丹頂リーグ2）	30,000	30,000	30,000	女10
大会参加料（丹頂リーグ3）	30,000	27,000	30,000	女10
大会参加料（会長杯）	30,000	30,000	30,000	女10
大会参加料（選手権大会）	30,000	24,000	30,000	女10
ジュニアキャンプ収益	90,000	50,000	50,000	
VＢフェスティバル収益	10,000	14,500	10,000	
預金の受取利子	0	732	0	
選抜（男女）残金	0	25,920	0	
その他	0	0	0	
合 計	1,354,618	1,345,770	928,656	

支出の部

摘 要	R07 予算	R07 決算	R08 予算	備 考
大会会場費（教育長杯）	0	0	30,000	
大会会場費（丹頂リーグ1）	0	0	30,000	ウインドヒルクしろスーパーアリーナ
大会会場費（丹頂リーグ2）	30,000	31,700	30,000	釧路町総合体育館
大会会場費（丹頂リーグ3）	30,000	36,160	30,000	釧路町総合体育館
大会会場費（会長杯）	30,000	36,160	30,000	釧路町総合体育館
大会会場費（選手権大会）	0	0	0	
大会審判料	20,000	16,000	20,000	※外部審判1日2,000円（弁当代込）を支給
動画撮影協力の謝礼	10,000	6,000	10,000	※動画撮影協力1日2,000円（弁当代込）を支給
大会補助役員・生徒弁当代	0	0	0	※弁当は飲み物込みで700円程度
釧路・十勝定期戦会場費	30,000	34,470	0	※R08年度は、十勝で開催
釧路・十勝定期戦補助費	0	0	0	※R08年度は、十勝で開催
ジュニアキャンプ会場費	0	30,000	30,000	ウインドヒルクしろスーパーアリーナ
VＢフェスティバル会場費	30,000	27,490	30,000	釧路町総合体育館
選抜（男女）補助費	150,000	265,226	150,000	選抜（男子、女子）のジャージを購入予定
選抜（女）選考会 プロフィール、修了証作成費	5,000	0	5,000	
慶弔費	25,000	0	25,000	
旅費	40,000	0	40,000	※JC伝達講習会、JC3次審判、3月選抜大会について、交通費（ガソリン代、高速代）を実費負担。領収書を会計係に提出
備品購入費	150,000	157,080	150,000	選抜（男子）のユニフォームを購入予定
消耗品購入費、その他	804,618	46,828	318,656	
合 計	1,354,618	687,114	928,656	

令和8年度釧路バレーボール協会中学校委員会運営組織（案）

顧問
 川端紀一 石橋芳勝
 高尾 稔 佐藤ミエ
 三上正夫 岸本秀彦
 福原 聡 山田和人
 山本真吾 土江田亮一

委員長 瀬谷 賢一
 ○釧路・道協会連絡調整、中学校統括
 ・大会組み合わせに関すること
 ・年間計画案・運営組織案の作成
 ・協会に関わること
 ・予算に関わること
 ・JVA-MRS登録関係 その他

副委員長 島田 桂子 (審判長兼任)
 ○道協会・釧路協会連絡調整
 ○委員長の補佐

審判長 島田 桂子 (副委員長兼任)
 ○全国・道・釧路協会
 ・審判育成・確保、連絡調整

地区中体連専門委員長
阿部 周平
 ○中体連業務
 ○1・2次キャンプ
 ○選抜関係全般
 ○講習会等企画運営
 ○事務・連絡調整他
 ○釧路十勝定期戦の企画、連絡調整
 ○チーム登録手続き（未登録チームへの呼びかけ）

道ジュニアキャンプ運営委員
 高橋 円
 阿部 周平
 (指導普及部長)
 島田 桂子
 ○第2,3次キャンプ
 ○選抜優勝大会他

第1次ジュニアキャンプ運営委員会
 ○高橋 円 ・中谷智之 ・島田桂子
 ・宝輪秀光 ・豊里憲一

釧路バレーボール協会理事 瀬谷 賢一・島田 桂子・高橋 円

	担 当	業 務 内 容
競技部	■部長 船岡 恭輔 □副部長 秋保 健太	○大会組み合わせ及び大会要項作成 「教育長杯」「新人リーグ戦」「会長杯」「バレーボール選手権」の組み合わせを行い、大会14日前に委員長に確認を取る。確定後参加校へ連絡する。 (注：大会要項の役員は協会の人、中体連会長は副大会長とする) ○大会運営 開閉会式の進行、試合記録(スコアシート)の作成、管理 ○試合会場(当番校)との手続き・連絡 会場確保の確認と暖房通気願いの手続きをする。
審判部	■部長 宝輪 秀光 □副部長 吉野 祐介	○各種大会の審判確保—道協会との連絡 ○大会運営—審判割り当て、コート点検 ○審判の育成 ○記録・ラインズマンの指導・育成 ○ルール等に関わる指導
指導普及部	<女子> ■高橋 円 <男子> □近藤 瑛人	○第1次ジュニアキャンプの企画・立案・運営 ○第1・2次指導者講習会の企画・立案・運営 ○若手指導者養成(伝達講習会ほか) ○優秀選手選抜大会の選手選考と練習・男女別にスタッフを決定 ○冬期バレーボールフェスティバルの企画・立案・運営 ○男子広域クラブチームの企画・立案・運営
事務・会計部	■部長 中谷 智之 □副部長 山本 早花	○大会参加受付・審判謝礼・領収書 ○各種指導者講習会参加集約と旅費支給(道指導者講習会 など) ○選抜助成金申請手続き及び選抜チームへの補助金 ○収支決算 ○賞状の準備 ○大会用具の箱の管理 ○事務一般 ○新型コロナウイルス感染症消毒関係全般 ○大会動画配信

※中学校委員会理事会は委員長、副委員長、各部部長で構成する。

令和8年度 中学校委員会事業計画(案)

2026/04/14現在

釧路バレーボール協会

中学校委員会

	期日	曜	事業名	会場	責任者	当番校
1	4月25日	土	第32回釧路十勝定期戦(女子) ※ 1日日程、十勝開催	帯広市立 西陵 中学校 (午前)帯広翔陽中学校 (午前) 帯広南商業高校 (午後) 幕別町立札内東中学校、幕別町立札内中学校	競技部	
2	5月3日 5月5日	日 火	令和8年度(第46回) 北海道中学生バレーボール選抜優勝大会	芦別市ほか	道普及部	男子: 女子:
3	5月24日	日	教育長杯争奪中学校バレーボール大会	釧路町総合体育館	競技部	専門委員会
4	7月4日 7月5日	土 日	釧路地区中学校体育連盟バレーボール大会	釧路町総合体育館	専門委員長	専門委員会
5	7月29日 7月30日	水 木	第51回北海道ジュニアバレーボール第1次キャンプ(釧路) 兼 第53回北海道ジュニアバレーボールキャンプ(第2次)予選会	ウインドヒルくしろスーパーアリーナ	指導普及部	
6	8月5日 8月7日	水 金	第56回 北海道中学校バレーボール選手権大会	江別市		
7	8月20日 8月23日	木 日	第56回 全日本中学校バレーボール選手権大会	広島県・広島市 広島県立総合体育館(広島グリーンアリーナ) 大和興産安佐北区スポーツセンター		
8	9月12日	土	釧路地区バレーボール新人リーグ戦1次リーグ	ウインドヒルくしろスーパーアリーナ	競技部	各中学校
9	10月10日	土	釧路地区バレーボール新人リーグ戦2次リーグ	釧路町総合体育館	競技部	各中学校
10	11月7日	土	会長杯争奪中学校バレーボール大会	釧路町総合体育館	競技部	専門委員会
11	11月21日	土	釧路地区バレーボール新人リーグ戦3次リーグ 11/28(土)釧路市中学校統一土曜活動日	釧路町総合体育館	競技部	各中学校
12	12月12日	土	第23回 冬季バレーボールフェスティバル	釧路町総合体育館	指導普及部	各中学校
13	1月		第53回 北海道ジュニアバレーボール第2次キャンプ		道中体連	道指導普及部
14	2月6日	土	釧路地区中学校バレーボール選手権大会	※会場未定	競技部	専門委員会
15	3月26日 3月28日	金 日	第36回 北海道中学校バレーボール優秀選手選抜大会		道普及部	道指導普及部

※ 4月4日(土)第1次ジュニアバレーボールキャンプ各地区推進委員指導研修会(北海道バレーボール協会指導普及部主催) 場所:江別中央中学校 時間:13時~ ※要確認

※ 5月日0審判講習会(釧路バレーボール協会主催) 場所:北海道釧路江南高等学校体育館 時間:9:00~15:30 ?

※ 釧路地区中体連監督会議 日時:未定 場所:釧路市立鳥取西中学校?

※ 令和9年度北海道中学校バレーボール選手権大会 釧路市・釧路町

※ 令和9年度全日本中学校バレーボール選手権大会 近畿ブロック(予定)

※ 令和8年度強化練習会 ①9月20日(日) ②9月27日(日) ③10月18日(日) ④10月25日(日) ⑤11月23日(月) ⑥11月29日(日)

※ 令和8年度釧路選抜選考会 ①12月19日(土) ②12月20日(日)

※ 令和9年5月3日(月)~令和9年5月5日(水) 第47回北海道中学生バレーボール選抜優勝大会

2026年度 6人制ルールの取り扱いについて

2026, 3, 20

【1】 プレーの動作に関する事項

9.2 ヒットの特性

9.2.1 ボールは身体の中のどの部分で触れてもよい。

9.2.2 ボールをつかむことや投げることは許されない。ボールはどの方向にはね返ってもよい。

9.2.3 ボールは接触が同時であれば身体のさまざまな部分に触れてもよい。

例外：

9.2.3.1 ブロックでは、1つの動作中であれば1人または2人以上のブロッカーが連続して接触してもよい。(規則 14.2)

9.2.3.2 チームの1回目のヒットでは、1つの動作中であればボールは身体の中のさまざまな部分に連続して接触してもよい。(規則 9.1)

9.3 ボールをプレーするときの反則

9.3.1 フォアヒット：チームが返球する前にボールを4回ヒットすること。

(規則 9.1, 第 11 図⑩)

9.3.2 アシステッドヒット：選手が競技エリア内でボールをヒットするために、チームメイトまたは構造物や物体からの助けを得ること。(規則 9.1.3)

9.3.3 キャッチ：ボールをつかむ、または投げる。この場合、ボールはヒット後、接触しているところから離れない。(規則 9.2.2, 第 11 図⑪)

9.3.4 ダブルコンタクト：1人の選手が連続してボールを2回ヒットすること、またはボールが1人の選手の身体の中のさまざまな部分に連続して触れること。

(規則 9.2.3, 第 11 図⑫)

(注)

- 1 プレーのハンドリング基準は、試合を通して統一されなければならない。
- 2 ボールは、クリアにヒットされなければならない。ボールをヒット後、接触している部分から離れないと判断された場合はキャッチの反則となる。
- 3 ボールをつかむ、投げる、ボールの方向を変える、持ち上げる。このようなプレーはキャッチの反則となることがある。ファーストレフェリーは、ボールが接触している状況を的確に判定する。
- 4 特にオーバーハンドパスにおいて、手の中に止まるケースや長くとどまるようなプレーは、キャッチの反則となる。
- 5 チームの2回目のヒットが指を使ったオーバーハンドパスで行われ自チームの空間内にボールが飛んだ場合は、手の中で連続して接触してもダブルコンタクトの反則にならない。アタックヒットが完了(ボールがネットの垂直面を完全に通過するか、相手ブロックに接触)したときは、ダブルコンタクトの反則になる。

<詳解>

- ・オーバーハンドパスをしたボールが、そのプレーヤーの手から滑り身体の他の部位にあたった場合は、ダブルコンタクトの反則となる。
- ・チームの2回目のヒット後、アタックヒットが完了（ボールがネットの垂直面を完全に通過するか、相手ブロックに接触）したときにダブルコンタクトの反則が成立するため、それまでに別の反則が起きた場合、その反則が優先される。

12.3 サービスの許可

ファーストレフェリーは両チームがプレーする準備ができて、サーバーがボールを持っていることを確認した後にサービスを許可する。（第11図①）

（注）

- 1 コート上に5人だけ、または7人の選手がいるときには6人になるよう、サービスのホイッスル前に促す。必要であれば遅延行為に対する罰則を与えなければならない。
もしファーストレフェリーがそのことに気づかずにサービスのホイッスルをした場合、およびラリーが始まったり完了した場合、ファーストレフェリーはそのことに気づいたら直ちに罰則無しにラリーをやり直さなければならない。
- 2 ポジション4にリベロがいる場合は、ファーストレフェリーはチームが正規の選手にリプレイスメントするのをサービス許可のタイミングまで待つ。それでもリプレイスメントが行われない場合は、セカンドレフェリーを通してアシスタントスコアラーに確認後、リプレイスメントさせ、その後遅延行為に対する罰則を与える。
もしラリーが始まった場合、ポジショナルフォルトとして処置をする。
- 3 サービス許可のタイミングで、その他の不法なリベロリプレイスメントが行われており、ファーストレフェリーが分かっている場合も、上記2と同様の処置を行う。

12.5 スクリーン

12.5.1 サービングチームの選手は、1人または集団でスクリーンを形成してサービスヒットおよびサービスボールのコースが相手チームに見えないように妨害をしてはならない。

12.5.2 サービスが行われるとき、サービングチームの1人または複数の選手が集団で腕を揺り動かしたり、跳びはねたり、左右に動いたりして、あるいは集団で固まって立ち、サービスヒットとボールのコースの両方をボールがネット垂直面に到達するまで隠すことでスクリーンとなる。サービスヒットまたはボールのコースがレシービングチームに見えるのであればスクリーンではない。（第6図）

12.5.3 サービングチームの選手は、サービスボールがネットを越えるまで、手を頭より上にあげてはならない。意図的なスクリーンが疑われる場合、ファーストレフェリーはゲームキャプテンを通じてチームに注意することができる。

(注)

- 1 チームが意図してスクリーンを形成している場合や、プレーヤーが手を頭より上にあげている場合（頭を保護するために、頭の後ろに手をあげることは許される）、スクリーンの反則になることがある。
- 2 上記のようなケースをサービス許可前に気づいた場合は注意をする。また、サービス許可後に生じた場合はラリー終了後、ゲームキャプテンに注意する。

【2】 プレーの構造に関する事項

7.4 ポジション

サービスヒットの瞬間、サーバーを除き、両チームはそれぞれのコート内に位置していなければならない。

レシービングチームの選手はサービスヒット時、ローテーション順に位置していなければならない。サービングチームの選手はサービスヒット時、どの位置にいてもよい。

(注)

- 1 レシービングチームのポジションの反則が成立するのは、サーバーがトスをした瞬間である。トスをする瞬間までに、コート内に位置していなかったり、ポジションが完全に入れ替わったりしたケースは反則となる。セカンドレフェリーは、サーバーとレシービングチームのポジションを視野に入れるために、支柱から少し離れて判定をする。サーバーがトスをする瞬間までに、完全に入れ替わり反則となるケースがあるため、レフェリーはポジションを常に把握しなくてはならない。
- 2 レシービングチームにポジションの反則が起きたときは、サービスヒットの瞬間にホイッスルする。
- 3 サーバーが反則（不適切なサービスの実行やローテーション順の間違いなど）をした場合、相手チームにポジションの反則があったとしてもサービスの反則となる。

【3】 競技参加者の行為に関する事項

20.1 スポーツマンにふさわしい行為

20.1.1 競技参加者は公式バレーボール規則に通じていなければならない。また、それを忠実に守らなければならない。

20.1.2 競技参加者はレフェリーの決定に対してスポーツマンらしく反論せず受け入れなければならない。

疑問がある場合はゲームキャプテンを通じてのみ説明を求めることができる。

(規則 5.1.2.1)

20.1.3 競技参加者はレフェリーの決定に影響を与えたり、またはチームの反則を隠したりする行動や態度は避けなければならない。

(注)

- 1 判定に対するゲームキャプテンの質問は受け入れるが、その内容がルールの取り扱い等に関する質問ではなく、判定に対する抗議や意見を述べる等の場合やゲームキャプテン以外の選手が質問に来た場合は、拒否する。
- 2 競技参加者が、規則 20 (スポーツマンにふさわしい行為、フェアプレー) に反した場合、警告が与えられる。繰り返した場合は、ペナルティが科せられる。
- 3 不法な行為については、その程度に応じて、適切な処置を行う。
レフェリーの判定に対しチームが納得しないこともある。しかし、それにより不法な行為を行っても良いという理由にはならない。

23.2.4 ファーストレフェリーは自分が下した判定に関していかなる論争も許してはならない。

とあるように、どのような場面でも毅然と対処する。

- 4 競技参加者が、判定に対して執拗に抗議するような態度をとった場合、警告が与えられる。繰り返した場合は、ペナルティが科せられる。

【主にステージ 1 に該当するケース】

- ①最終判定後にもレフェリーに不満を示す態度や言葉を発した場合。
- ②ゲームキャプテンの質問に答えた後にも、さらに論争を長引かせた場合。
- ③規則の適用や解釈でない内容の質問が、繰り返された場合。
- ④一度指導されているにもかかわらず、再びゲームキャプテン以外の選手が判定に対して質問した場合。
- ⑤ネット越しに相手の選手などに対して、ガッツポーズ等牽制する行為などがあった場合。

【主にステージ 2 に該当するケース (直接イエローカードを出すケース)】

- ①判定に対して抗議や不満を表す態度を必要以上に示した場合。
 - ②判定に対して、ベンチスタッフや控えの選手がベンチから飛び出して判定に異議を訴えた場合。
- 5 試合中にゲームキャプテンのみが、レフェリーに質問や競技規則の適用や解釈について説明を求めることができる。
監督はリベロの再指名の時や得点が正しくない時などに声かけ程度はできるが、セカンドレフェリーやスコアラーに、説明を求めたり、長く話しかけたりすることはできない。
 - 6 先にペナルティ・退場・失格の罰則を適用した後、同じチームに軽度の不法な行為があった場合、ステージ 2 を適用せず、ペナルティ (レッドカード) を適用する。

(2014 年度の取扱いからの修正)

(例)	無作法な行為	⇒	軽度の不法な行為 1 回目	⇒	同 2 回目
選手	No.5		No.6		No.2
処置	レッドカード		レッドカード		レッドカード

20.2 フェアプレー

20.2.1 競技参加者はレフェリーだけでなく、他の役員、相手チーム、チームメイト、さらに観衆に対してもフェアプレーの精神で敬意を示し、礼儀正しく行動しなければならない。

(注)

- 1 監督が、試合中、自チームベンチ前のフリーゾーン内で、立ちながら歩きながら指示を出している場合、ラインジャッジの判定の妨げにならないようにレフェリーが注意する。
ラリー終了後、レフェリーの判定に影響を及ぼす行為に対しては、直ちに罰則を適用する。
- 2 試合終了後、監督とファーストレフェリー・セカンドレフェリーはフェアプレーの精神でお互いに「握手」を交わす。

【4】 レフェリーに関する事項

23.3.2 ファーストレフェリーの責務

23.3.2 試合中、ファーストレフェリーは次の権限を持つ。

23.3.2.3 b) ボールをプレーするときの反則。(規則9.3, 第11図⑰⑱⑲)

(注)

- 1 チームの3回目のヒットが、ネットを越えずその選手が続けて触れた場合、ダブルコンタクトではなくフォアヒットのシグナルを示す。

29.2 ラインジャッジの責務

29.2.1 ラインジャッジは40×40cmのフラッグを使用して次のことをシグナルで示す：

29.2.1.3 ボールがアンテナに触れたとき、またはサービスボールおよびチームの2回目または3回目にヒットされたボールが許容空間外側のネット垂直面を通過したとき。

(規則8.4.3, 8.4.4, 第5図a, 第12図④)

(注) ラインジャッジのフラッグシグナルの修正

- 1 ラインジャッジは、2回目または3回目にヒットされたボールが、許容空間の外側のネット垂直面を通過したときにフラッグを振る。(第12図④)